

「メディカルアロマの専門家ドミニク氏と訪ねるフランス精油の旅」

ツアー期間 2015年6月22日(月)～2015年6月30日(火)

大体の日程 (12/10現在予定)

- 1) 第1日目(6/22-月) 関西空港(AF291)もしくは羽田、成田空港からパリ[シャルルドゴール(CDG)空港]着17:00(AF291の場合)へ行き、オルリー空港発21:20(AF4505)を經由してコルシカ島Ajaccio着(22:25)、コルシカ(Ajaccio)宿泊
- 2) 第2日目(6/23-火) ドミニクともう一人の運転手のミニバス(それぞれ8人乗り)で、Ajaccio市の研究センター訪問、Casanova名誉教授(化学専門家)とその後継者Tomi教授[化学専門家でC13NMR(核磁気共鳴装置)を持つ]に面会、昼食後ナポレオンの生家(Ajaccio)を見学し、15時半出発、1時間半で大学都市Corte(コルト)にあるコルシカ大学に行き、短時間ではあるが、Costa Jean教授とPaolini Julien教授[精油の専門家(LC/MS/MS)]を訪問、その後、1時間の位置にあるAleriaに行き、投宿+ディナー。コルシカ島Aleria泊まり。
- 3) 第3日目(6/24-水) はミニバスでバスティアの近くのヘリクリサム畑(黄色い花畑)とその蒸溜所を見学、もし、興味が有れば、アロマハーブと様々な柑橘類のある庭園を訪問、その夕刻(20時発だが少し早く行く必要あり)バスティアから船でニースに移動(夜、船中泊、約10時間弱、船室は個室)。
- 4) 第4日目(6/25-木) (朝船がニースに着く) はミニバスでニースよりも東の都市マントン(Menton)のお花の綺麗な植物園[①Serre de la mad one, ②Val Rameh] や③Villa Hanbury in Ventimiglia(イタリア国境を少し越えたところ、ジェノバ大学の植物園)訪問、ちらっとモナコを眺めてグラスに行く(恐らく香水博物館はもう締まっている)、香水の町グラスの近くで泊まる。
- 5) 第5日目(6/26-金) グラスの香水博物館とRobertet Factory(蒸溜、抽出)を見学、その後、花の咲いているプロバンスの真性ラベンダー畑と雑種のラバンジン畑、タイムとクラリセージの畑(恐らくそれらの花も咲いています)を見学します。時間があれば修道院(ラベンダーで有名なモンク修道院など)やサド公爵のお城(沢山あり、その内のそれぞれ1つをピカソやピエール・カルダンが所有したこともある)を見学しアロマテラピーを講義してくれるも施設あります。プロバンスの美味しい料理旅館に宿泊
- 6) 第6日目(6/27-土) はミニバスでセザンヌの故郷エクサンプロバンス(Aix-en-Provence)にあるスターアニスの蒸溜所見学、時間があればドミニクの手によりアヴィニヨン泊まり
- 7) 第7日目(6/28-日) はミニバスで、ゴッホ終焉の地(アルル、Arles)の麦畑、教会、ゴッホの住んでいた部屋など見学後、アヴィニヨン泊まり
- 8) 第8日目(6/29-月) ミニバスで、マルセイユ空港、10:50マルセイユ発(AF7663)、CDG着12:20、CDG発(AF292)13:35で帰国の途、(機中泊)
- 9) 第9日目(6/30-火)、朝帰国の予定です。
関心のある方は、研究所までお問い合わせください。